

教育だより

発行：芦別市教育委員会学務課

☎0124-22-2641

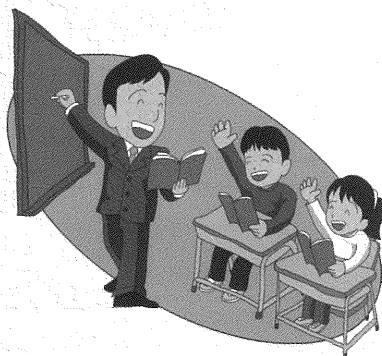
豊かに成長できる学校づくりを進めます。

本市の学校教育の指針である「芦別市学校教育推進計画」では、「芦別の明日を担う子どもたちが自立し、ともに支え合う共生の精神をもって、この変化の激しい時代をたくましく生きて行くことができるよう、『すべては子どもたちのために』の理念のもと、子どもたち一人ひとりが持つ力に光をあて、その力を最大限に引き出す教育を下記の4つの柱で目指します。

I. 『学ぶ力の育成』

子ども一人ひとりに自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら問題を解決する「学ぶ力」の育成を図っていきます。

- ◇ 家庭との連携による家庭学習の習慣化・定着化
- ◇ 習熟度に応じた指導の充実
- ◇ 放課後や夏・冬休みを活用した補足的な学習の取組
- ◇ 学習サポート教員の配置によるきめ細やかな指導
- ◇ 学習支援員の増員による特別支援教育の充実



II. 『豊かな心の育成』

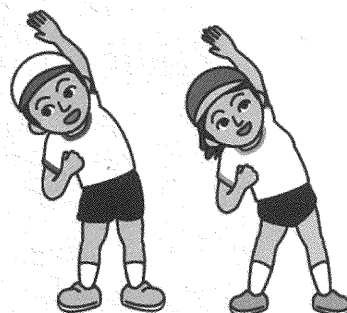
子ども一人ひとりの人格のよりよい発達を促すため、生命を大切にする心や、他を思いやる心などの「豊かな心」の育成を図っていきます。

- ◇ 学校・家庭・地域社会の相互連携による道徳教育の充実
- ◇ 児童生徒の悩みなどを気軽に話せる環境の整備等、いじめ問題や不登校への取組の充実
- ◇ 豊かな情操を培う読書活動や文化活動の推進

III. 『健やかな身体の育成』

子ども一人ひとりに生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに、積極的に心身の健康の保持増進を図る資質や能力の育成を図っていきます。

- ◇ 自ら進んで運動・スポーツに親しむ指導の充実
- ◇ 栄養教諭による食育指導の推進
- ◇ 家庭・地域と連携した食育の充実



IV. 『地域に開かれた信頼される学校づくりの推進』

学校の情報を積極的に家庭や地域に提供し、開かれた信頼される学校づくりに努めています。

- ◇ 保護者や地域の意見を学校経営に反映させる「学校関係者評価委員会」活動の充実
- ◇ 「学校支援ボランティア」の拡充と活用の推進

芦別市教育委員会では、子どもたちの「生きる力」を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成を重視しています。

全国学力・学習状況検査の結果について

例年4月に実施される全国的な学力テストの結果、基礎問題において、前年正答率や全道平均を上回るものがあり、学力向上に向けた取組の効果が少しずつあらわれているものの、全体的には全道平均を下回る結果となり、基礎学力が十分に身に付いていない実態が浮き彫りとなりました。



学校及び教育委員会では、様々な取組を通して基礎学力を高めるため努力してまいります。家庭と連携することにより、さらにその力が何倍にも高められます。

まずは、芦別市全体で「全道平均以上」を目指しましょう！！

○ 平成24年度全国学力・学習状況調査における家庭学習に関する調査結果

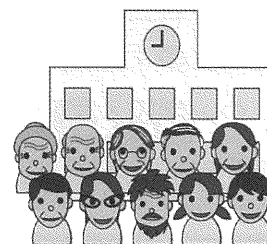
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）		（単位：％）					
		3時間以上	2時間以上	1時間以上	30分以上	30分未満	全くしていない
小学校	芦別市	7.1	3.0	11.1	34.3	27.3	17.2
	全国	11.1	14.5	33.9	26.1	10.5	3.8
中学校	芦別市	0.9	13.6	25.5	29.1	20.9	10.0
	全国	9.9	25.4	31.1	16.9	9.7	6.9

学校関係者評価委員会って何？ 地域の声を生かします。

子ども一人ひとりの健やかな成長は、学校、家庭、地域の三者による地域ぐるみの連携した取組によって図られるものです。そのため、保護者や地域の声を反映し学校運営に協力する「学校関係者評価」の活動に力を入れています。

Q. 学校関係者評価委員会とはどのようなものですか？

- A. 学校と一緒に子どもの事を考え、それぞれの立場・視点から意見を出し合うことで、より良い学校をつくるための活動をしています。



Q. どのような人が委員になっているのですか？

- A. 保護者や地域住民等、学校に関係する方々が委員として活動しています。

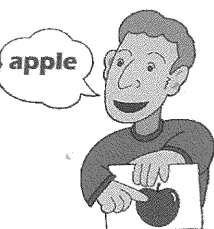
Q. どのようなことが話しあわれているのですか？

- A. 授業や学校行事を観たり、児童生徒、先生方の意見を参考に、保護者や地域の方々は学校に対してどのように感じているか、どんな学校になってほしいか意見を出し合い、評価書を取りまとめます。

Q. 成果はどのようなものですか？

- A. 学校は、保護者や地域の方々からどのように見られているかを知ることによって、教育活動を振り返るきっかけとなり、どの学校も特色ある地域に開かれた学校に変わってきました。

英語指導助手の増員について



市内小中学校の英語教育や国際理解教育を推進するために、外国青年を招致し英語指導助手として1名配置しておりますが、平成25年度から、生涯学習係に配置される国際交流員が英語指導助手の業務を一部担当し、2名体制で授業の充実を図ります。

外国語を通じてコミュニケーションを図る楽しさを体験したり、外国の文化に慣れ親しむ機会が増え、国際感覚が身に付くことが期待されます。

奨学生を募集しています！

○応募資格

- ① 芦別市に住所を有する方（本人または親）
- ② 大学（大学院を除く）、短期大学、高等専門学校（4年次及び5年次に限る）。
または、修業年限が2年以上の専修学校（市内の専修学校は除く）に在学する方
- ③ 経済的理由で修学が困難な方
- ④ 学業優秀、性行善良で健康な方

○奨学金の月額等

区 分	金 額	願書等提出期日
国公立大学生	24,000円	毎年度5月20日
私立大学生	30,000円	
国公立及び私立の高等専門学校生	22,000円	
私立の専修学校生	22,000円	
市内の専修学校生	32,000円	毎年度6月20日

○貸与方法

毎月末日までに、ご指定の口座に振り込みます。ただし、1回目の貸与については6月からで、4月分から6月分は、6月末日までに振り込みます。

○返還方法

卒業後6か月を経過した後、年2回（3月及び9月）で返還していただきます。
【無利子・10年以内】

○奨学生の選定

毎年度、芦別市教育委員会会議において決定します。

フッ化物洗口を導入します。

歯は、生えてから2～3年が最もむし歯になりやすく、乳歯から永久歯に生えかわりの期間などを考慮すると、小学校入学前から中学校（4～14歳）までに適切なむし歯予防を行うことが大切です。

平成23年度学校保健統計によると北海道の12歳児におけるむし歯の平均本数は、全国ワースト5位となっており、芦別市においても、幼児期から学齢期にかけてのむし歯の平均本数は全国平均を上回っている状況です。

芦別市では、子どもたちの健康な歯を育成することを目的に、市内保育園では平成23年6月より、幼稚園では平成24年4月よりフッ化物洗口を導入しています。

フッ化物洗口については、継続して実施することが大切であることから、平成25年度より市内小学校においても導入し、児童の健康な歯の育成に努めていきます。

フッ化物洗口って何するの？

フッ化物洗口とは、フッ化ナトリウムの水溶液でブクブクうがいを1分間行い、むし歯を予防する方法です。



生えただばかりの歯は、見かけは一人前でも、歯の表面は未熟でむし歯になりやすい状態です。この時期は逆にフッ化物も吸収しやすく、むし歯に対する抵抗力を強くすることができます。また、フッ化物はむし歯になりかけるところから溶け出したカルシウムをもとに戻す作用（再石灰化）もあります。



実施方法としては、市内小学校の1年生及び2年生を対象に、週1回学校において、フッ素の入った水を自分たちのコップに入れて1分間「ブクブクうがい」を行います。費用については、もちろん無料です。【全額市負担】

※実施学年の拡大については、今年度中に検討を行っていきます。

なお、このフッ化物洗口は、保護者の同意の基に行いますので、保護者の方から参加の有無を確認して実施いたします。

学校支援ボランティア活躍中

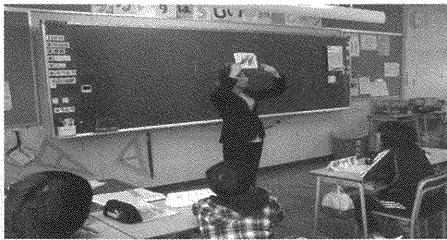
○ ひぐらし老人クラブ『長寿会』

上芦別小学校の下校パトロールとして毎日、子どもたちを見守っていただいています。地域の中に学校を中心とした人の交流が広がり、子どもの安全確保のみならず、ボランティアの方々の活躍により、自ら進んで挨拶する子どもが増えています。



○ 芦別スキー連盟

芦別小学校及び西芦別小学校のスキー学習においてスキーの指導をしていただきました。限られた人数の教員では難しい専門的な技術・知識に基づく指導により、子どもたちの滑走技術やスキー場におけるマナーを身に付けることができました。



○ JES NETWORK(株)

上芦別小学校5・6年生の外国語活動の時間に指導をしていただきました。楽しい外国語活動を通して子どもたちが活発になり、英語に慣れ親しみながら人とかわることへの自信につながるなど、多くの効果が得られています。

学校支援ボランティアを募集しています！



現在、学校支援ボランティアの方々には、教科指導補助や子どもたちの安全見守りなどで活動していただいています。今後も、地域の方々の知識・経験・趣味特技を生かして、教育活動の充実を図っていきたく考えています。

ぜひ、「学校支援ボランティア」の登録をしてみませんか！！

【お申込み・問い合わせは、教育委員会学校教育係】

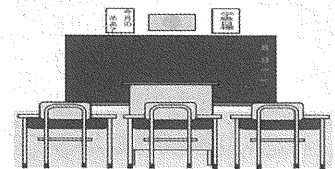
小規模小学校3校では、閉校に向けた準備が進められています。

平成26年3月末で閉校となる常磐小学校、西芦別小学校、野花南小学校では、それぞれのPTA、町内会、同窓生の方々などが中心となって協賛会が設立され、閉校記念式典や記念事業の実施に向けた準備が進められています。

また、統合先となる芦別小学校、上芦別小学校との間では、交流学习の実施に向けた調整が進められており、授業や行事を合同で行うことによって児童同士が交流できる機会が設けられることになっています。

各校の閉校記念式典は、次のとおり挙行される予定です。

- ・常磐小学校 平成25年10月26日(土)
- ・西芦別小学校 平成25年11月24日(日)
- ・野花南小学校 平成25年11月10日(日)



保護者・地域・教育関係者の皆さんへ

子どもたちの「生きる力」の向上に関するご意見を「郵送」「FAX」「電子メール」(様式自由)にてお寄せください。

【送付先】〒075-0011 芦別市北1条東2丁目4番地 芦別市教育委員会学務課学校教
(Tel)0124-22-2641 (Fax)0124-22-3172 (E-mail)gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp